

「あゆみ」をご覧いただくにあたって

川西市立北陵小学校長 田中 薫

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。毎学期末にお子さまを通して保護者の皆様にお渡しする「あゆみ」の見方について説明します。

本校の学校教育目標は「自ら考え、支え合い、高め合う子ども」 目指す子ども像は「よく考える子・なかのよい子・たくましい子」です。「あゆみ」は、お子さまの学校における学習や生活の様子をお知らせし、家庭と学校が力を合わせてお子さまのより望ましい成長に役立てていくことをねらいとして作成しています。

「あゆみ」は、学習指導要領の個々の目標に照らし、その子がどの程度到達できているかを表す一人ひとりの到達度による評価です。学級の他のお子さまと比べる相対的な評価ではないことをご理解ください。

1年生は「できる」「もうすこし」の2段階（3学期からは3段階）で到達度評価しています。2年生から6年生は「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階で到達度評価しています。

しかし、評価は点数ではかることのできる学びばかりではありません。生活面や学習面の中で、優れているところや伸びてきたところ、がんばっているところを文章表記してお知らせしています。もっとがんばってほしいところを励ましの意味で文章表記することもあります。日々の生活態度や学習の様子、ノートや作品等と重ね合わせながら、この「あゆみ」を見ていただきたいと思います。保護者の方々とお子さまが、学んだ内容や成果・課題について語り合うことで一緒に成長を確認し、喜びを分かち合ってほしいと願っています。

この「あゆみ」が、保護者の皆さまにとってお子さまの現在を知り、将来の可能性を積極的に見出し、優れた点や長所を伸ばしていく手がかりになることを期待しています。子どもたち自身もみずからを知り、みずからの成長の記録「あゆみ」となることを願っています。